

1. 開催日時 令和8年7月27日（木）午後1時30分～午後3時30分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 田澤健司、池谷智晴、高部信男、横原広明、山下富雄、吉野好永、中澤正文
4. 欠席委員 松下正行、坂下奈生子、榊原愛
5. オブザーバー 野嶋俊之（入野協働センター所長）
6. 学校 小嶋澄華（校長）、山内剛治（教頭）、大木賢志（教務主任）、  
山本洋介（CS担当教職員）、和久田里恵（CSディレクター）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 和久田里恵
9. 議長の選出

前回会議にて池谷副会長を推薦いただき、会長も了承、全員異議なくこれを承認した。

10. 協議事項
  - （1）前期学校評価の結果と分析について
  - （2）2学期以降の指導・支援で力を入れることについて
11. 会議記録

司会の山内から、委員総数の10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）前期学校評価の結果と分析について

教務の大木から別紙資料に基づき前期学校評価の結果と分析について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 全体の傾向を見るのにアンケート結果の数値化は良いが、少数の否定的な意見をどう拾うかが大切。  
(田澤委員)
- 1. 1%の否定的な意見が全て同じ一人であれば、手厚く対応してほしい。(田澤委員・池谷委員)
- パーセントの数値を見るだけでなく、こういうことに困っている子は、他にどういうことに困っているかという分析ができるとより良い。(高部委員)
- 発達支援学級の子供たちが学校を楽しめるといいなと思う。(池谷委員)
- 「楽しい学校生活を送っている」に関して、個人的な意見を書き込めるといいと思う。(横原委員)
- こういったアンケートは、反省材料を把握するのが目的の一つだと思う。アンケート結果の集計表の各項目に、母数が何人かを載せたほうが統計として良いと思う。(田澤委員)
- いじめに関する項目では、先生と子供の認識にギャップが見られた。先生が気付いてないこともあるため、今後の反省材料として受け止めていきたい。(田澤委員)
- 高学年において、個人としてできていることが、集団となるとできないこともあるという結果は、周りが見えてくる高学年ならではのと思う。(横原委員)
- 高学年が自己評価できていることが素晴らしい。成長している。(池谷委員・山下委員)
- 「いじめにあったとき、先生や家の人に相談できるか」について、高学年になるほど相談できない子は多くなると思う。今の時代、AIに相談するほうがいいという意見もあると思うが、信頼関係を作り、先生に相談しても安心だと子供が思えるようにしたい。(田澤委員)
- 先生側が受け身になるのではなく、子供の異変に気付いたら、こちらから声を掛けてみると、話してくれる子もいるかもしれない。(池谷委員)

**【地域の特色や文化、歴史に触れる学習への支援の充実についての具体案について】** 前回協議会より～

- 「入野地区ふるさと愛称標識マップ」が完成。学校にも冊子を配布するので活用してほしい。

(入野協働センター所長)

- 古く壊れてしまった標識を、子供たちで書いて、取り付けるのも良いと思う。(横原委員)
- 新しく郷土かるたを作り、それで遊ぶことにより郷土を知ることができる。(田澤委員)
- 地域文化遺産をみんなで見て回る。(田澤委員)
- 無理なく、総合の授業に組み込める範囲でできればと思う。(池谷委員)

**（２）２学期以降の指導・支援で力を入れることについて**

本校の課題である「言葉遣い」と「放課後の遊び方」について、教職員とＣＳ委員とでグループを作り、話し合い、まとめ、グループごとに発表をした。

**【低学年：（教員：宮下、北村、山下、石田）（委員：高部、池谷）】**

**テーマ１：言葉遣いについて**

- 学校では、国語・道徳の授業。学校生活の中でも、先生との対話が良いモデルになるようにしたい。
- 家でも、YouTube やＳＮＳ等、影響を受けやすいものに関しては配慮が必要。

**テーマ２：放課後の遊び方について**

- 低学年では子供同士で公園に遊びに行くことは少ないが、公共の場でのマナーについて道徳でふれていく。家庭でもマナーについて会話に取り入れていく。

**【中学年：（教員：悠斗、竹村、響）（委員：田澤）】**

**テーマ１：言葉遣いについて**

- 自分の言葉で相手を傷つけていないか、逆に自分が言われたらどう思うか一緒に考え指導したい。
- 地域としても、場に応じた言葉遣いを心掛け、大人がお手本となる行動をとっていきたい。

**テーマ２：放課後の遊び方について**

- トラブルが起きた時、次も同じことをやらないよう自分の行動を振り返り、考えさせることが大事。
- 放課後については教師の目が届かないことなので、家庭、地域で連携して対処していきたい。

**【高学年：（教員：大橋、阿部、幸田、洋介）（委員：中澤、横原）】**

**テーマ１：言葉遣いについて**

- 高学年として１年生のお手伝いをしたり、教師と会話したりする際の言葉遣いについては、日常的に、都度、指導していく。
- 家庭でも都度、注意していく。良い言葉遣いに対して、褒めることも大切。

**テーマ２：放課後の遊び方について**

- 高学年としてできることは、低学年のことも気かけ、注意できるといい。
- お金のトラブル回避のため、家庭ではあまり高額なお金を持たせない。学校でも指導していく。

**【なかよし・フリー：（教員：廣岡、井嶋、染葉、西村）（委員：吉野、山下）】**

**テーマ１：言葉遣いについて**

- 授業や日常生活において、気を付ける。朝の挨拶、職員室への入り方、目上に対する言葉遣い等、場に合った言葉遣いをしていきたい。

**テーマ２：放課後の遊び方について**

- 家に一度帰ってから、どこに誰と行くかをしっかり家の人に伝える。危ないことはしない。
- 地域にて、公園の見守り。子供との関係性ができるといい。遅くまで外にいる子の情報を、学校に教えてくれるとありがたい。

司会から、次回会議は、令和８年１２月９日（水）午後１時３０分から西都台小学校２階研修室で、開催する旨の報告があった。